

● 令和3年度 交流会 第4回 『小児がん』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 川口 浩史 先生
実施日時：令和3年9月28日（火） 14：00～16：00
会 場：オンライン開催（ZOOM）・難病対策センター
対 象 者：小児がんの子どもたちの家族、支援関係者、関心のある方
参 加 者：家族1名、本人1名、保健師2名、保育士2名、
養護教諭1名、看護師1名 担当：西部保健所

● 講演内容

- ① 子どものがん
- ② どこで治療を受けるか？
- ③ 治療のあとのこと
- ④ 最近の話題
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症



● アンケート結果より

<参加された方の感想>

「小児がん経験者の方は治療終了後も長期にわたって晩期合併症と向き合っていることが分かりました」

「治療のことはもちろん、子どもにとって大切な教育についての現状を知ることができ大変勉強になりました」

「保健所の新型コロナウイルス感染症の家庭内の消毒方法についてのお話により、家庭内感染が減少すれば素晴らしいと感じました」

「先生のお話がとてもお上手で、楽しく講義を受けることができました。ありがとうございました」

● 担当者より一言

今年度に入り4回目のオンライン講演交流会となりました。ご家族の申込みもありましたが、残念ながら交流会には関係者のみの参加となりました。川口先生のお話は小児がん全般の事から、晩期障害、教育支援や新型コロナウイルス感染症に関することまで盛りだくさんの内容を丁寧に説明され、参加者から大変好評を得ました。保健所からは「新型コロナウイルス感染症と療養生活」の説明があり、保健所の具体的な対応や療養生活について理解できました。オンライン特有の難しさも感じますが、毎回学ぶことも多く継続していこうと思います。

